

2013年3月12日 宇宙科学奨励賞 講演



科学衛星を用いたX線、 ガンマ線観測による 宇宙線加速の研究

内山 泰伸 SLAC 国立加速器研究所 Panofsky Fellow (4月から立教大学に着任) 謝辞



宇宙の巨大加速器: 超新星残骸

超新星が星間空間に作る衝撃波 → 高温プラズマ (X線放射) → 粒子加速 (多波長放射) E_{max} ~ 10¹⁴ eV (100 TeV) 銀河宇宙線を説明するためには、 E_{max} ~ 3×10¹⁵ eV (3 PeV)

超新星残骸 (SNR)

<u>6 arcmin</u>

ティコの超新星残骸

Chandra X-ray image of Tycho's SNR (SN 1572):

赤: **低エネルギーX線** 青: **高エネルギーX線** (無衝突)衝撃波において、超高エ ネルギー粒子が加速されている TeV 電子がシンクロトロンX線放射

Energy: TeV = 10¹² eV (c.f. LHC: 7 TeV)

加熱されたイジェクタ (爆発放出物) e.g. O, Si, S, Fe 元素合成の様子がわかる

<u>6 arcmin</u> = 23 light-year

加速の基本メカニズム:フェルミ加速

衝撃波 (速度 V) E = 1 TeV E = 1.01 TeV

E = 1 TeV

E = 1.03 TeV

衝撃波の周り: 荷電粒子が磁気波動によって弾 性散乱される。(ランダム ウォーク)

粒子が衝撃波を1往復: エネルギーゲイン ΔE/E ~ V/c ~ 0.01 (young SNR)

粒子が衝撃波を1000往復: エネルギーは20000倍 **E = GeV → E = 20 TeV**

エネルギー分布は 指数2のベキ関数 **N(E)dE∝ E⁻² dE**

加速された粒子が作る多波長スペクトル

X線ガンマ線観測:近年の急速な発展

すざく衛星

50

あすか衛星

10-10

10-11

10-12

10-13

0.5

0.5 1

シンクロトロンX線の発見

Suzaku

Suzaku spectrum

 $0.4 \sim 40 \text{ keV}$

10

2 5 10

20

20

(Koyama+1995)

チャンドラ衛星

シンクロトロンX線フィラメントの発見

→ 「加速場所 = 衝撃波」

シンクロトロンX線時間変動の発見
 → 乱流磁場の増幅の証拠 (Uchiyama+2007)

シンクロトロンX線スペクトルカットオフ → 磁場の乱れ δB~B (ボーム極限)

Tanaka, Uchiyama+(2008)

X線ガンマ線観測:近年の急速な発展

大気チェレンコフ望遠鏡 (TeVガンマ線観測)

シンクロトロンX線と 相関するTeVガンマ線 → ~100 TeV の粒子 の確実な証拠

フェルミ衛星 (GeV ガンマ線)

超新星残骸からのGeVガンマ線の発見 →加速メカニズムについて様々な情報

π⁰ 崩壊ガンマ線の同定 → 陽子加速の証拠

11

Updated from Thompson, Baldini, Uchiyama (2012)

- SN 1572
- SN type: la
- distance: ~3 kpc
- radius: ~3.7 pc

- ★ Cassiopeia A
- SN ~1680
- SN type: IIb
- distance: ~3.4 kpc
- radius: ~2.5 pc

X-ray Images (Chandra)

Cas A: 宇宙線量の測定が可能に

シンクロトロンX線フィラメントの幅 (Vink & Laming 03; Bamba+05; Parizot+06)、シンクロトロンX線時間

変動 (Uchiyama & Aharonian 08; Patnaude & Fesen 09)

→ B = 0.3-0.5 mG

 $= m_i \pi^0$ 崩壊の直接的な証拠

Gamma-ray

Fermi-LAT Coll. 2013 (Funk, Tanaka, Uchiyama)

Gamma-ray Space Telescope

> -0.05 0.05 0.1 0.15 0.2 0.25 0.3 0.35 23 0 0.4

After leaving SNR W44, CRs diffuse along the external B-field direction → bipolar morphology

SNR起源説を考える上で重要な項目:

エネルギー総量:

Space Telescope

「SNR はCR陽子~10⁵⁰ erg (~10% of Esn)を生成するか?」

✓ Tycho, Cas A などで、およそこのCR生成量を確認。
✓ W44, IC443 で陽子起源の¹0 崩壊ガンマ線放射を同定。

最高エネルギー:

「SNR はCR 陽子 を ~10¹⁵ eV にまで加速できるのか?」

✓ W44, IC443 で陽子起源のπ⁰ 崩壊ガンマ線放射を同定。

✓若いSNRのX線観測により、乱流磁場の増幅とボーム拡散を確認

 $E_{max} \sim 10^{15} \,\text{eV} \,(v/1000 \,\text{km/s})^2 \,(t/1000 \,\text{yr}) \,(B/100 \,\mu\text{G})$

新しい問題:宇宙線のSNRからの脱走(escape)